

旧宮塚町住宅での市民活躍のためのワークショップ

MIYAZUKA ♥ PROJECT NEWS LETTER

Vol.0
Kick off Event



70余年にわたり、市営住宅として役割を果たしてきた「旧宮塚町住宅」が、2019年春、芦屋市活性化の拠点として生まれ変わります。その方法や内容を、市民参画で考えたり決めたりしようとする試み、「MIYAZUKA ♥ PROJECT」が始まりました。

「MIYAZUKA ♥ PROJECT」の5回のワークショップでは、市民参画ってなに？ 活躍するってどういうこと？ そんなことを丁寧に考えながら、自分がしたいこと、できること、求められていることを明らかにし、生まれ変わる旧宮塚町市営住宅との交差点も見つけましょう。

開催日：2018年9月8日（土）

プログラム：

17:00~18:00 旧宮塚町住宅見学会

18:30~19:30 トーク（茶屋之町のカフェ・space R）

19:30~20:30 交流会（ ” ” ）

耐震改修後の旧宮塚町住宅を見学した後、ゲストを迎えてトークセッションを開きました。



まずは住宅の概要について市の職員より説明を受けてから、自由に内部を見学。



改築していた住戸もある。この部屋はもっとも建築当時の原型を留めている住戸。



間取りは2DK。廊下はなく、DKと和室2部屋が襖や戸で仕切られている。

第1部

旧宮塚町住宅見学会

前日からの雨模様で足元が心配された中、奇跡的に見学会時間は雨脚が止まり、17時から、59名の参加者を迎えて見学会が行われました。

見学会は3班に分かれて開催され、最初に芦屋市企画部政策推進課の島津久夫さんより当建物についての説明を受けたあと、各自自由に2階建ての建物を見学しました。

旧宮塚町住宅の概要

昭和27年度建築、地上2階建て 組積造 公営住宅標準設計:52FC型 1階と2階にそれぞれ4部屋ずつあり、各部屋は和室2部屋+DK。浴室は建物の南側に後付けされていたが、現在は撤去。日本ビルダーズ株式会社が建築。石川県小松市産と思われる「日華石(につかせき)」が使われているが、なぜ石造りにしたのかは不明。団地マニアにはよく知られる「興味深い物件」。**【参加者：約59名(事前予約制)】**

第2部

トークセッション

トークセッションでは2人のゲストを迎え、大きく次の2つのテーマについてのトークが展開されました。

ゲスト：山崎 亮 (studio-L代表、コミュニティデザイナー)

山中 健 (芦屋市長)

司会：渡辺 直子 (フリーエディター、芦屋市市民参画協働推進会議会長)

参加者：29名 (事前予約制)



市民参加について、山崎さんが実例を交えて分かりやすく面白くトーク。参加者の表情には、真剣さと笑いが交互に訪れていた。

テーマ1 市民参画について

POINT①市民参画の意味

市民参画は「行政の仕事を市民が手伝う」ということではない。市民が楽しく意義を感じることを自分の意志ですることで、まちが生き生きと明るくなったり、結果としてきれいに暮らしやすくなるスタイルがこれからの市民参画。

POINT②芦屋市と市民参画

芦屋市について「お金持ちのまち」というイメージが先行しすぎていて、他の良い部分が見えにくくなっているのは残念なこと。それで終わらないまちをつくるのが、これからの市民のミッション。たとえば「いつも市民が楽しいことを企画して繰り広げている面白いまち」という評価を受けるのも嬉しいし、まちの可能性や将来性を感じられるのでは？

POINT③市民参画バージョン4

市民参画にもバージョンがある。バージョン1は20歳以上の総国民が選挙権を得た1945年。バージョン2は市民や学生が反対運動を起こした1970年。バージョン3は阪神淡路大震災が起こり、ボランティア元年と呼ばれた1995年。今まですべて25年ごとに次のバージョンに入ってきた。すると次に来るバージョン4は2020年と予測される。さて、この時の市民参画の潮流は何か。そこを議論し、追究し、つかまえよう！

テーマ2 活躍について

POINT①これからの「活躍」ってなに？

今までの「活躍する人」のイメージは「儲けている」「スター性がある」「独占している」といったものだが、これからはちょっと違う。「分かちあう」「自分も人も幸せにするのが上手」「個性や特徴を尊重する」といったことがキーワードになるのではないか？

また、これからは「女性の活躍」も今までに増して重要となるだろう。特に女性の人口比率が全国的に見ても高い芦屋市では、女性の活躍しやすい環境をつくること、女性の活躍を応援することは、市の活性化に直結する大事なテーマとなる。

POINT②女性脳の良さを活かす

いろいろなジェンダー論はあるが、男性脳と女性脳の違いは確かにある。

「女性活躍」といった場合、今までは、男性が考えた「活躍」のイメージや実像を女性も踏襲することを指す傾向があったが、これからはそうではないのではないか？

社会や経済が膨張の時期を終えて沈静化しようとしている今は、女性脳が得意とする「ほどほどにする」「相手の気持ちを想う」「助け合う」といったことを大事にして、コトを起こしたり運んだりしていくほうが、世の中はうまく行くし、人も地球も幸せになれるのでは？

第3部

交流会

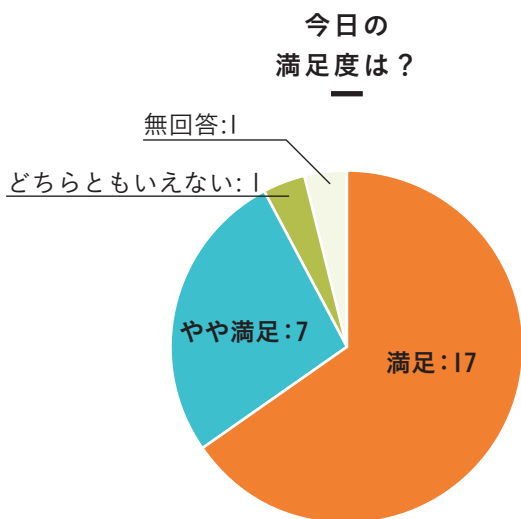


トークセッション終了後、同じ会場で8種類のフードを味わいながら、約1時間、参加者同士、ゲストと参加者の交流会が開かれました。それぞれに話が弾み、名残惜しい散会となりました。

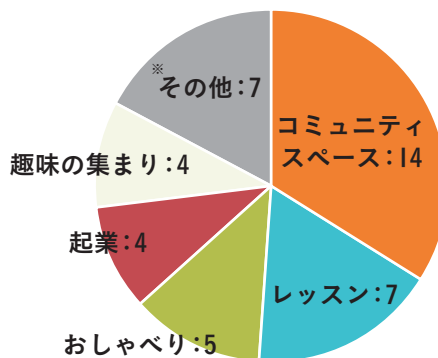


カフェ自慢のフードを楽しみながら、参加者同士、会話に花が咲いた交流会。

アンケート



生まれ変わった旧宮塚町住宅でやってみたことは?(複数回答可)



※その他/ドッグカフェ、コワーキングスペース、アンテナショップ、老人向けの何か、外国人向けの何か、大家族風スペース、寺子屋、無回答

来年3月まで、旧宮塚町住宅とあなたの「これから」を創るワークショップと相談会が開かれます。



ワークショップ開催日とテーマ

第1回 9/28 金	あなたのしたいことを再確認しよう!	第2回 10/19 金	あなたが求められていることはなに?	第3回 11/8 木	気になるケースをリサーチしよう!
第4回 11/30 金	どうすればできるかを考えよう!	第5回 12/14 金	自分の「これからプラン」を発表しよう!	2019年 1月~3月	相談会 (日時未定)

ワークショップの参加申込は締め切りました。